

明生会広報誌 つながり

第53号（通算116号）特定非営利活動法人 浜松地区精神保健福祉会明生会
〒432-8045 浜松市中区西浅田1丁目9-9 電話053（442）1988
E-mail:npo-hamamatu.shf.meiseikai@nifty.com 2025.9.10発行

精神保健福祉手帳を考える・・・全国データから

最近、精神保健福祉手帳についての資料を入手しました。全国の手帳発行数、等級別数、手帳保持者や都道府県人口を分母とした比率を一覧表にしたものです。ご紹介しましょう。

なお、手帳所持者数は2020年度末。総人口は2021年度末 125,502,000人です。

〈1〉表1をご覧ください。

全国精神保健福祉手帳所持者（1級、2級、3級）

	手帳総数	1級者	2級者	3級者
全国発行数	1,255,032	136,096	732,992	385,944
	100%	10.8%	58.4%	30.8%
総人口割合	1%	0.11%	0.58%	0.31%

1. 精神保健福祉手帳の全国発行数は1,255千であり、等級別割合は1級、2級、3級で概ね“1対6対3”となる。

2. 手帳発行数は、偶然にも総人口数の1%であるため、日本では100人に1人が精神の手帳所持者であり、そのうち1級は1000人に1人、2級は6人、3級は3人となる。

〈2〉下記の表2をご覧ください。手帳所持者の多寡を総人口割合1%を基準に示したものです
多い順に並べると 少ない順に並べると

広島県	1.35（最高値）
大阪府	1.23
島根県	1.22
長野県	1.21
鳥取県	1.19

宮城県	0.78
群馬県	0.78
静岡県	0.76
香川県	0.71
山形県	0.68（最低値）

〈3〉手帳1級所持者（基準値0.11%）に限って多寡順を見ると以下の通りです。

多い県	長野県 0.58（最高値）、岩手県 0.34、青森県 0.29、
少ない県	香川県 0.05、大分県 0.05、鹿児島県 0.04（最低値）

〈4〉このように各都道府県での手帳発行数格差又は等級間の格差は総括すると、手帳の等級認定基準に都道府県格差が大きいことが分かります。これは医師の診断書の判断、評価が全国的に平準化していないことが一因と考えられます。更に、例えば全国の医療費助成制度の助成内容は各自治体によって大きな違いがある等、各自治体のサービス提供にも微妙に影響しているのではないでしょうか。

（赤池千明）

理事会報告 — 令和7年6月から令和7年8月まで

6月1日、令和7年度の通常総会が開催されました。本年度は役員改選年度ではありませんでしたが、3名の役員の異動がありました（既報）。

家族会活動は、令和7年度からの課題である来所や電話等の家族相談件数の減少傾向、高齢化に伴う会員数が微減しています。このことは全国的な流れでもあるので広い視野での対応が必要と思っております。そのためにも、現在の活動を基礎として、役員や活動メンバーの無理のない世代交代が必要になってきています。

B型事業所つばめ創社は、令和7年度の目標にあげた新規事業の検討を進めていくことが大切です。一方において8月末現在で4月からの1日平均利用者数は16.7人でした。また利用者が就労に繋がる事例が数年来無いため、日常業務の分析や作業内容等を含めて総合的な見直しが必要と思っています。

法人の中長期の課題は激変していく精神保健福祉環境への対応と認識しております。会員の皆様のご意見やできる範囲での会活動への参加、協力をお願いしたく思います。



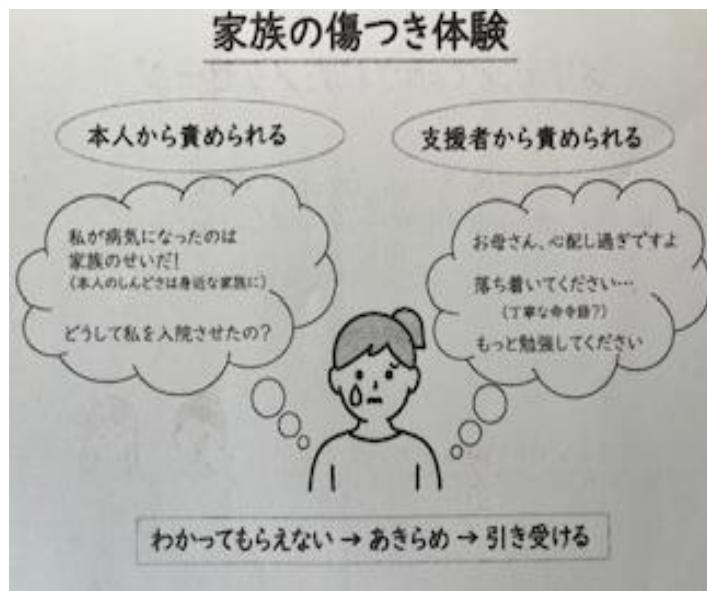
研修会報告

— 静岡県連合会の拡大家族相談員研修会

本人をささえる 家族も支える…家族まるごと支援とは…

7月18日、静岡県連合会主催の拡大家族相談員研修会が静岡市総合社会福祉会で行われました。講師は、淑徳大学の伊藤千尋准教授。いわゆるメリデン版家族支援の講演でした。参加者は県内家族会等で約40名が参加しました。

家族支援—この言葉が語られてから長い年月が過ぎました。しかしながら、当事者を抱えた家族は、家族であるがゆえに当事者のケアを担うことを当然の責任として引き受けました。しかし、本来は当事者のケアは社会の問題であり、家族だけが背負うことではないのです。これを「脱家族」と表現し、障害の「社会モデル」として捉えています。メリデン版家族支援も同じ考え方です。講演の中で家族は「家族の依存先を見つける」という表現がありました。それは家族が抱えている困りごとを外に出す、つまり「自分で解決しない」という意味なのです。“自分で、解決しない、一人で悩まない、困らない”…そのために家族会が存在していますし、仲間がいるのです。



今後の活動予定（9月～11月）

9月 6日（土） みんなねっと京都大会（京都市）
9月 14日（日） 第5回理事会
9月 21日（日） メンタルヘルスグループ結の会定例会
9月 28日（日） 家族ピア学習会
9月 30日（火） 第3回浜松市家族教室（中央区）
10月 10日（金） 甲州東海ブロック大会（岐阜市）
10月 12日（日） 第6回理事会
10月 13日（月） 静岡県精神保健福祉大会（静岡市）
10月 19日（日） メンタルヘルスグループ結の会定例会
10月 20日（月） 第4回浜松市家族教室（中央区）
10月 26日（日） 家族ピア学習会
11月 9日（日） 第7回理事会
11月 16日（日） メンタルヘルスグループ結の会定例会
11月 23日（月） 家族ピア学習会



明生会の活動トピックス

○家族ピア学習会を紹介します。

毎月、第4日曜日午後は学習会を行っています。
参加者は1回10名から15名。原則として会員です。
「ピア」と名付けたのは「仲間同士」という意味を
こめています。お互いの近況や困りごと、悩み等を
話し合い、自身を振り返り元気になってもらえば
幸いです。皆様もお気軽にご参加下さい。お待ちしています。



○星いきいき社会福祉財団からパソコン寄付をいただきました。

静岡県牧之原市に本部をおく公益財団法人星いきいき社会
福祉財団からパソコンを寄贈していただきました（写真）。
当会のパソコンが古くなり、買い替えを検討している時で
したので大変助かりました。有難うございました。今の時代、
家族会活動にパソコンはまさに必需品です。フルに使わせていただきます。



○メンタルヘルスグループ結の会をご存知ですか。

結の会は明生会の関連団体になります。数名の当事者を中心に支援者と活動して
います。現在は会の目的、意味、活動内容等をフリーに話し合い形作りの段階です。
毎月第3日曜日午前が定例会です。お問い合わせは明生会にお願いいたします。

前回は結婚編を書いたが、今回は妊娠までのことや妊娠中など、妊娠について書いていく。

「薬を服用しながらの妊娠」

薬を服用しながらの妊娠には、妊娠前から様々な情報を集めた。

もちろん主治医にも相談した。薬を服用しての妊娠のデメリット（胎児への影響等）と、薬を服用せず妊娠したときのデメリット（精神症状の悪化等）など考えたうえで、私の場合、薬を服用しての妊娠が望ましいという話だった。

ただ、私は、元々薬を服用することへの抵抗感が強く、薬の胎児への影響なども不安で、一人目の妊娠時には妊娠初期の頃に勝手に薬をやめてしまった。

案の定症状が悪化し、妊婦での精神病院へ入院となるわけなのだが、入院中の保護室で、自分のことや周りのことわからなくなるのにお腹の子を守れるはずもなく、高さのあるちょっとした柵の段差から飛び降りたり等々、とても危険な目に合わせてしまった。

幸いお腹の子は生命力のある子で、今現在5歳を迎え、元気いっぱいやんちゃに育っている。

薬は勝手に断薬してはいけない、何度も繰り返し勝手に断薬や減薬をして、その都度何度も繰り返し入院してきた病歴17年の今、二人目を産んで、やっと薬や自分との症状の付き合い方が身に染みてわかつってきたように思う。

二人目は薬の服用を続けたまま、妊娠、出産、子育てをしている。それでも出産前は不安が強くなり落ち着かず不眠になったりと、黄色信号になったこともあった。

「妊娠前の覚悟」

薬を服用しながらの妊娠出産と子育て、もし障害児が産まれたら、もし旦那にもしものことがあつたら、それでもし私一人で育てていかなければいけない状況になつたら、それでも子どもに愛情をもつて人を一人、育てていくことができるだろうか、そんなことを、真剣に、考えた。そして現在二人の子を育てている。

私は、覚悟を持って、命を育む。そう、決めたのだ。

次回は、「子育てについて」です。

皆さま、感想下さい、待ってます！

編集後記

- つながり53号をお届けいたします。昨今は、新聞やSNSでも精神保健福祉の話題が多く、浅学菲才の身ながらも必死に追いかけております。更に経済、社会、政治等々変化が速い。環境が変わることへの適応が大事とはいえ、何やら世知辛い感がありますね。
- 広報誌「つながり」の編集委員を募集中です。編集会議等は負担軽減のためzoomの利用も考えています。連絡は会事務所、又は赤池までお願いします。